

岐阜市民病院 院内がん登録集計 ＜2024年症例集計＞

登録・集計対象について

- ◆ 国立がん研究センター提供の「がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準様式2016年版」に基づき、入院・外来問わず、当院において当該腫瘍について初診し、診断及び/又は治療等の診療行為が行われた腫瘍を登録対象としています。
- ◆ 登録となる腫瘍の種類は、「国際疾病分類—腫瘍学第3版(ICD-O-3)における形態コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)で示されるものに加え、中枢神経系腫瘍の良性及び良悪性不詳の腫瘍、消化管間質腫瘍、卵巣の境界悪性腫瘍の一部です。
- ◆ 登録は1腫瘍1登録とし、再発・転移病巣は登録対象に含まれません。

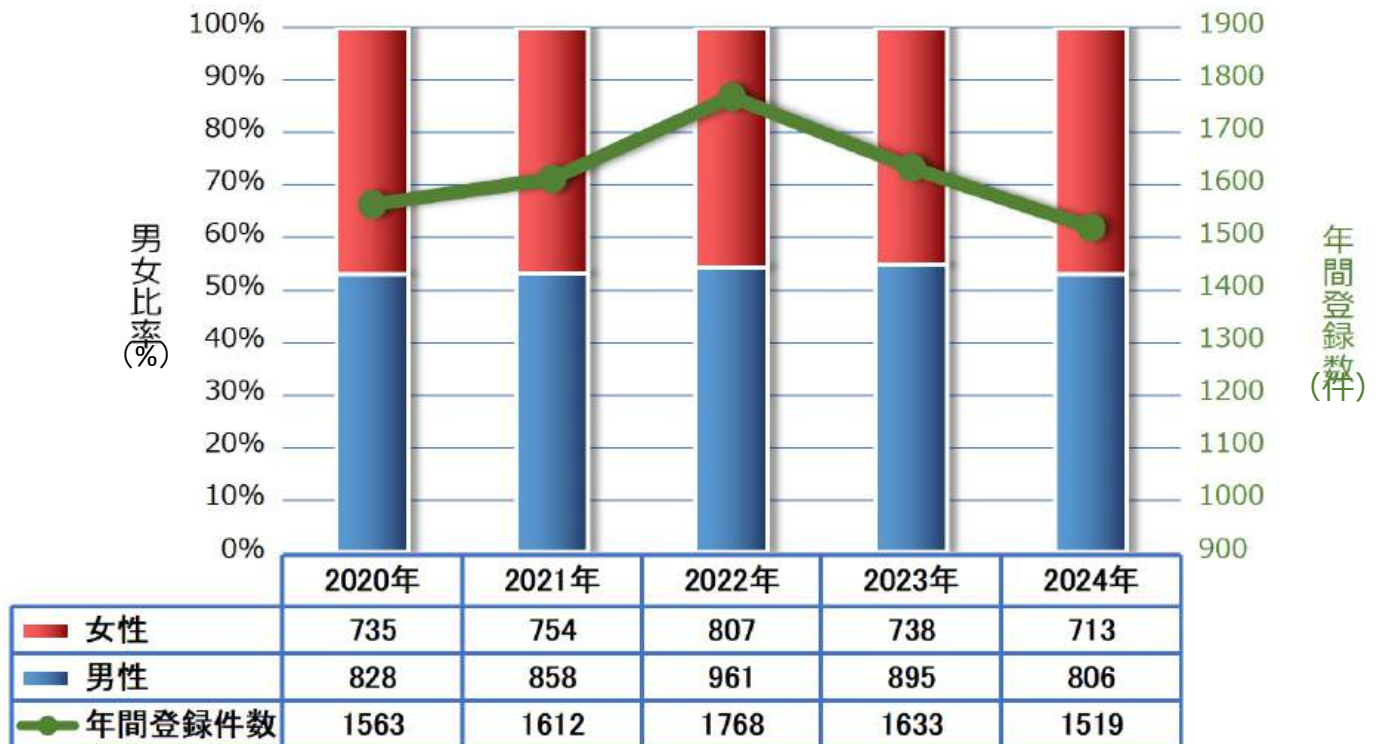
公表の対象について

- ◆ 各集計表において、集計値が10以下の場合、個人が特定される可能性が高い反面、患者、家族に対して有用な診療情報を提供するため、国立がん研究センター作成の「院内がん登録全国集計報告書」に準じて、集計値が1件以上10件未満の場合は、(1-3)件、(4-6)件、(7-9)件とし、10件以上は実数で表示しています。

集計データについて

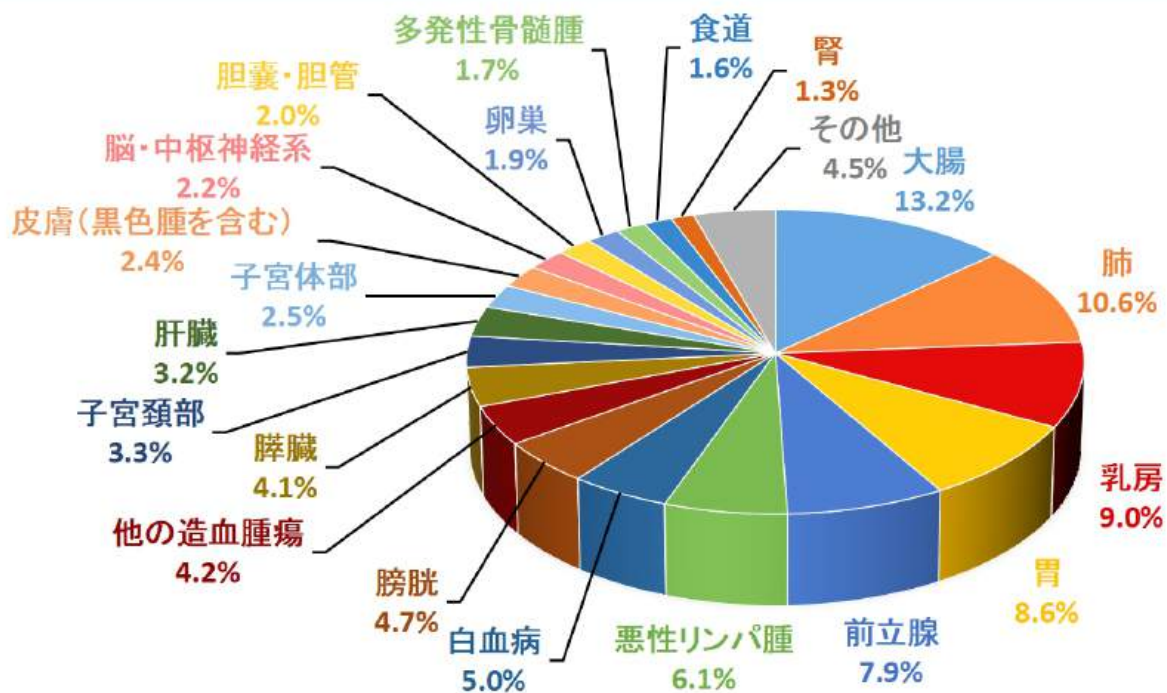
- ◆ 当院の2024年データは、2025年8月時点のものを使用しています。
- ◆ 項目2～4、10は症例区分80(当院が診断、初回治療に関わっていない症例)は集計対象外としています。

1.登録数の年次推移



2024年の当院におけるがん登録数は前年と比べて114件減少しています。
男性と女性の比率は例年通じて男性がやや多いと言えます。

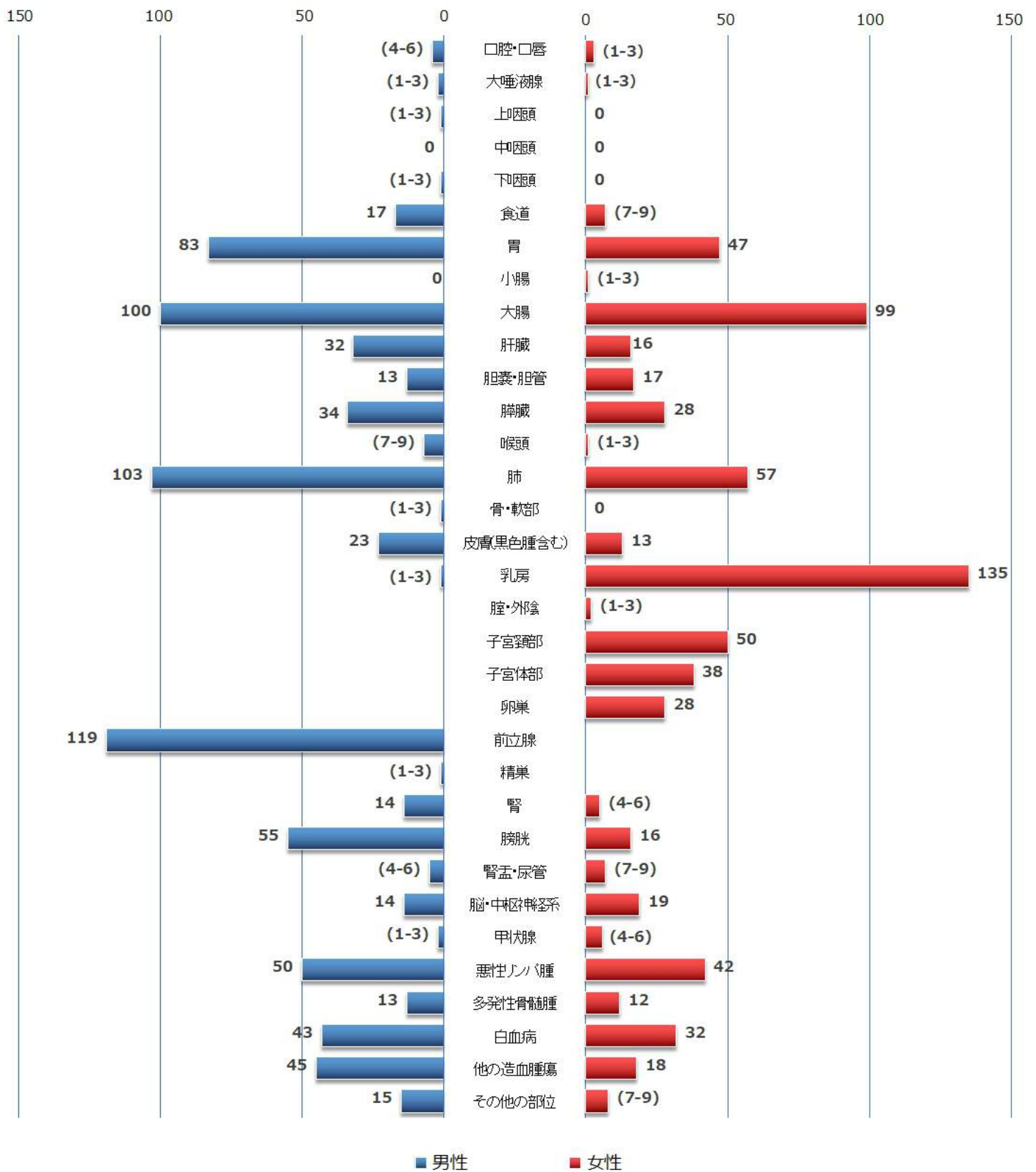
2.部位ごとの登録割合(2024年)



登録したがんを部位別(臓器別)に見たときの割合を示しています。
大腸・肺・乳房・胃・前立腺の5部位の合計が全体のおよそ50%となっています。

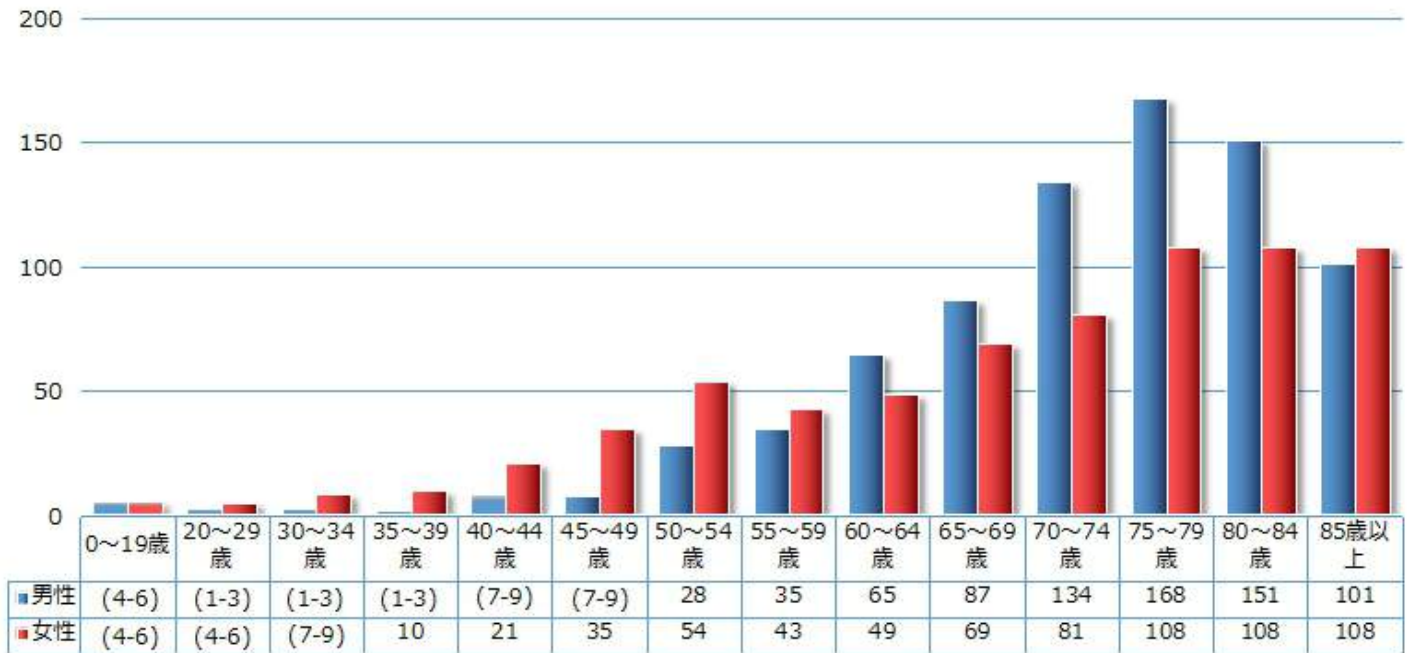
3. 部位別、男女別登録数(2024年)

単位:件



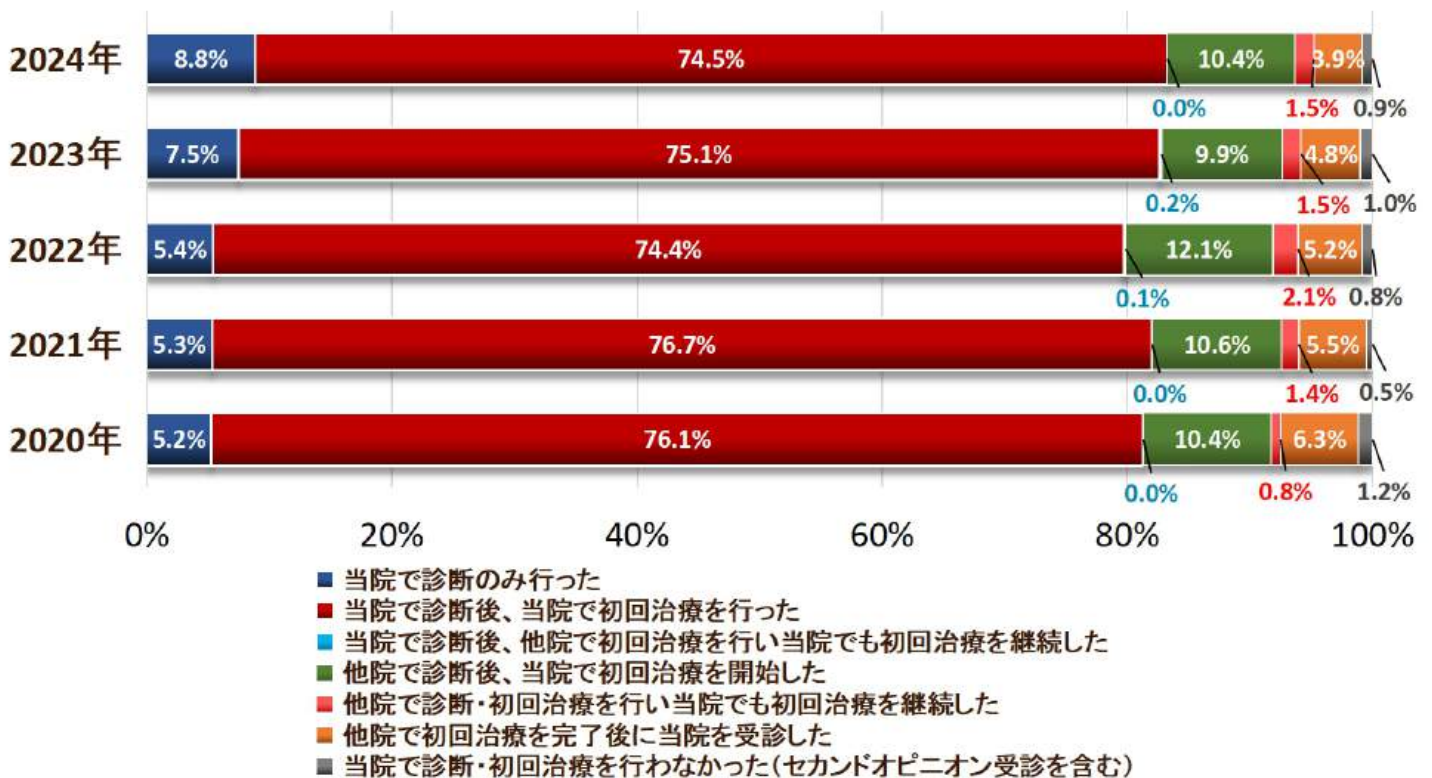
4.年齢階級別、男女別登録数(2024年)

単位:件



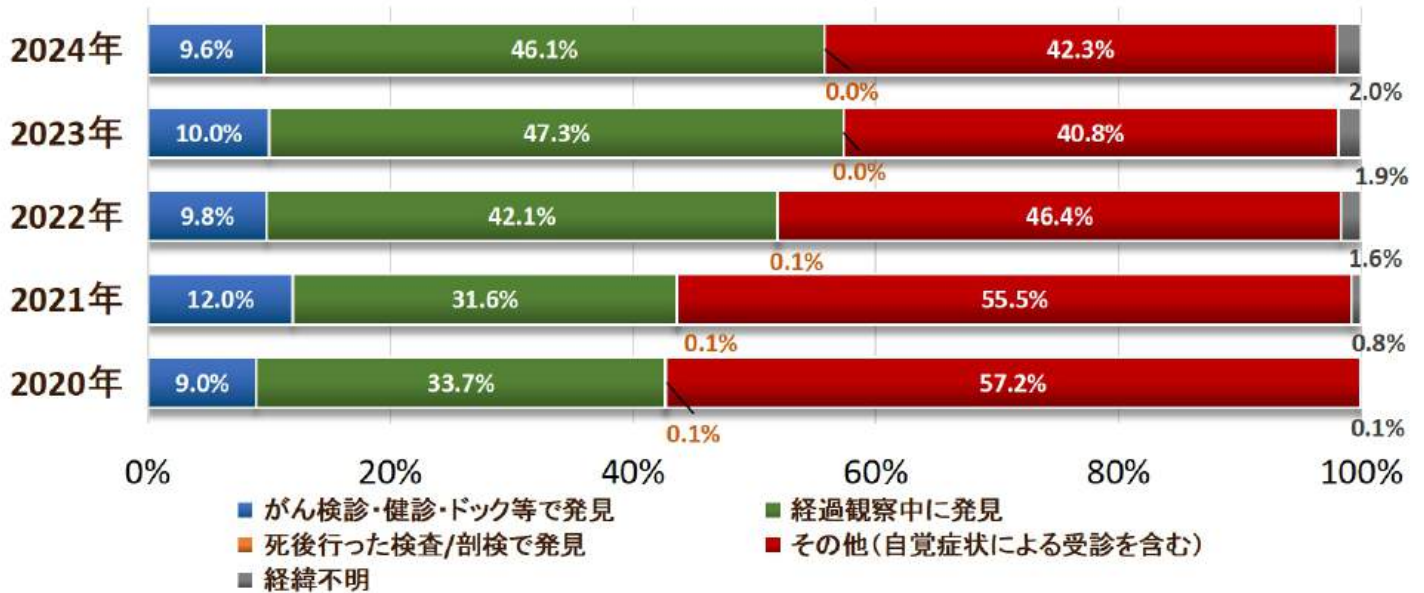
年齢別に登録数を見てみると、男性は70歳あたりから急激に増加し、女性は男性と比較すると、年齢とともに緩やかに増加する傾向にあります。60歳あたりまでは女性が多く、以降85歳あたりまでは男性が多い傾向にあります。

5.当院が「がん」の診断や初回治療でどのように関わったか



「初回治療」とは、がんと診断されてから最初に計画された治療のことをいいます。およそ80%以上が当院で診断を行い、初回治療に当院が関わっています。

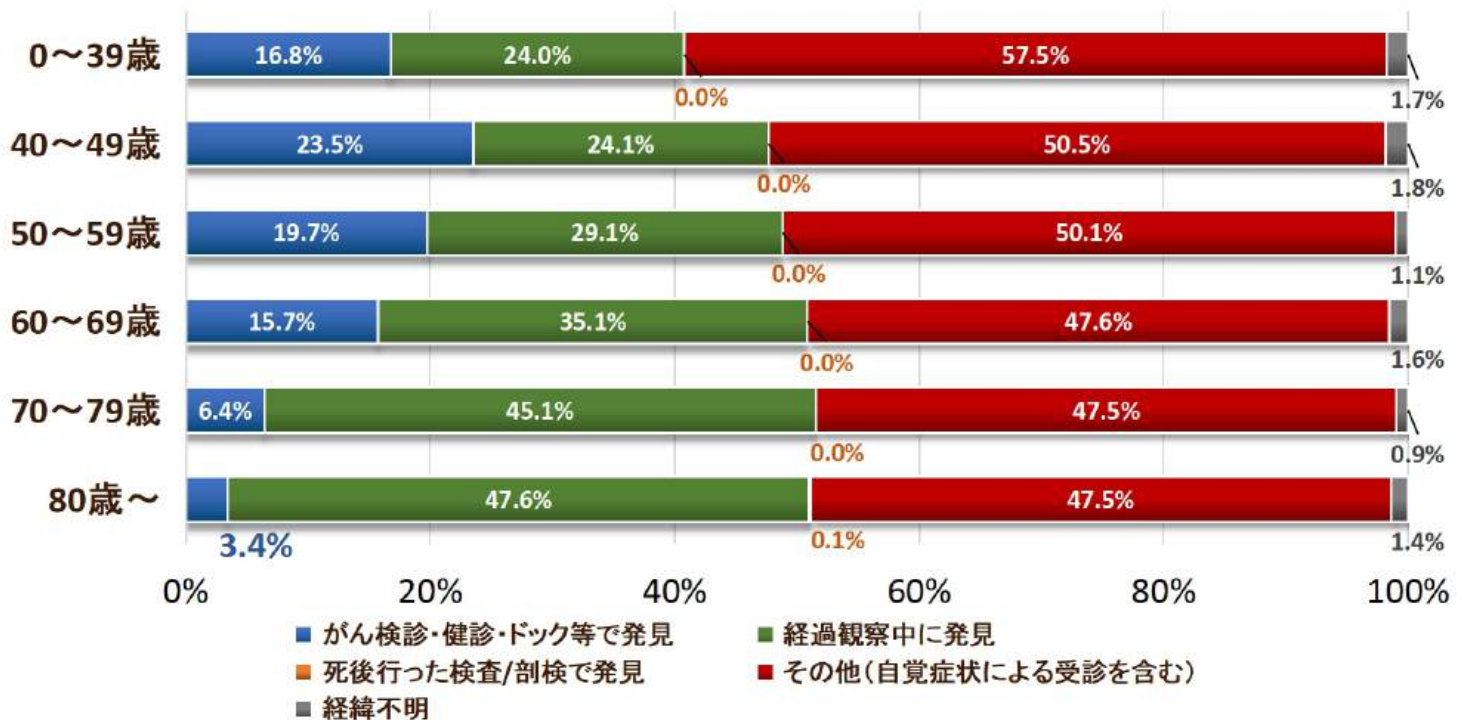
6. 発見経緯(「がん」が見つかったきっかけ)の推移



・経過観察中: 当院・他院問わず、がんの疑いでの経過観察中や、他の病気の治療・検査などによりがんが発見されたものを含みます

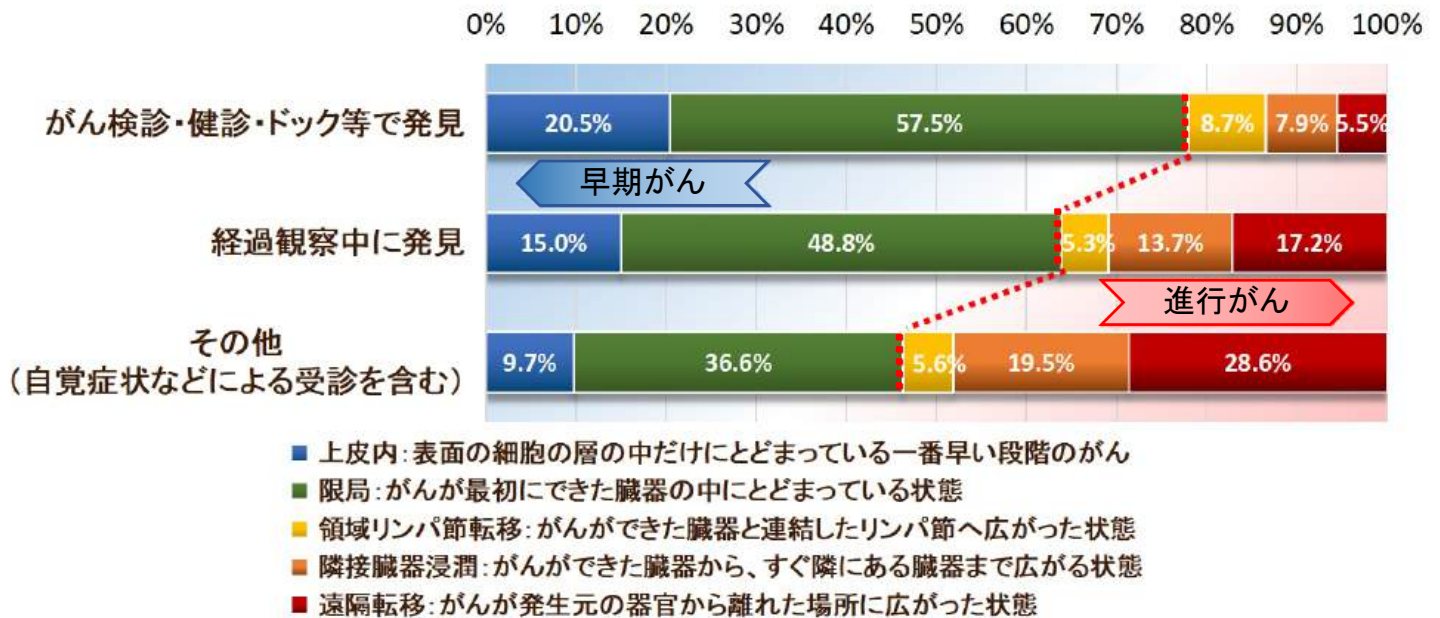
当院において、その他(自覚症状により受診した方を含む)の割合は、2020～2021年が増加傾向にありました。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受診控えによる影響も一因として考えられます。

7. 発見経緯と年齢との関係(2024年)



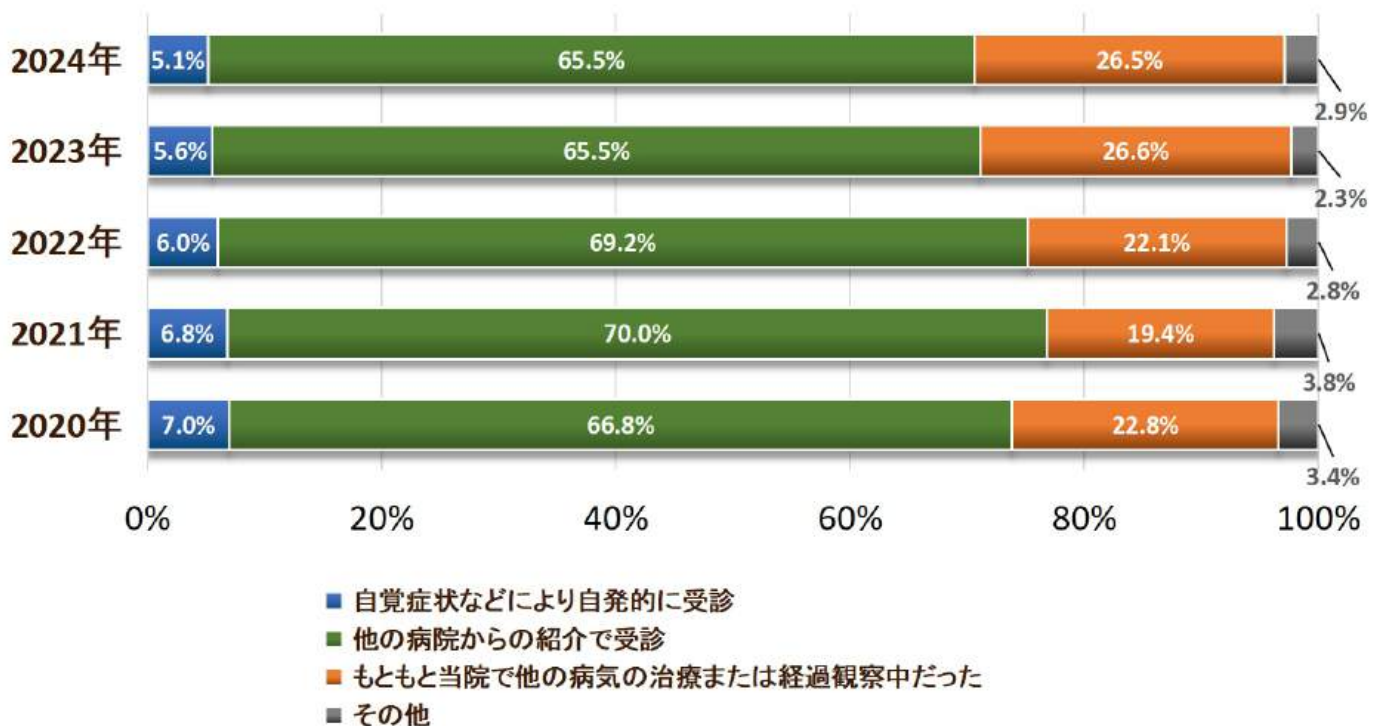
発見経緯を年齢別に分けて見てみると、検診・健診で発見される割合が40～49歳で最も高い傾向にあります。その後は年齢が高くなるにつれ減少していますが、かわりに他疾患経過観察中の発見が増加する傾向にあります。年齢とともにさまざまな疾患を抱える方が増えることが要因と思われます。

8. 発見経緯とがんの進み具合の関係(2024年)



赤色の破線から左が早期がん、右が進行がんの割合となっています。
 早期がんの割合が、がん検診や健診で発見された方が78%。自覚症状が現れてから受診して発見された方が46%と明確に差が出ています。
 早期発見のためには、定期的ながん検診や健診を受けることが大切です。

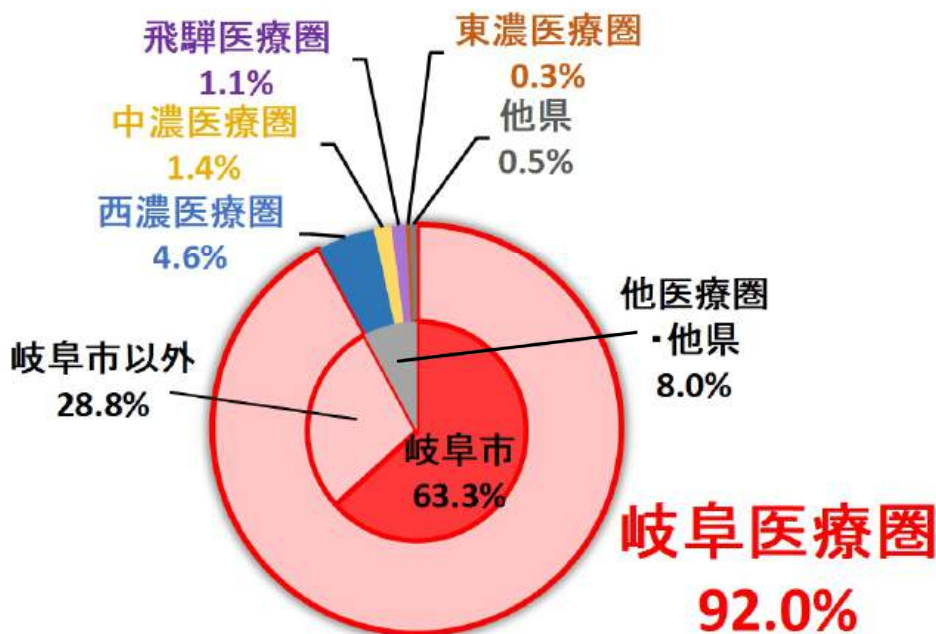
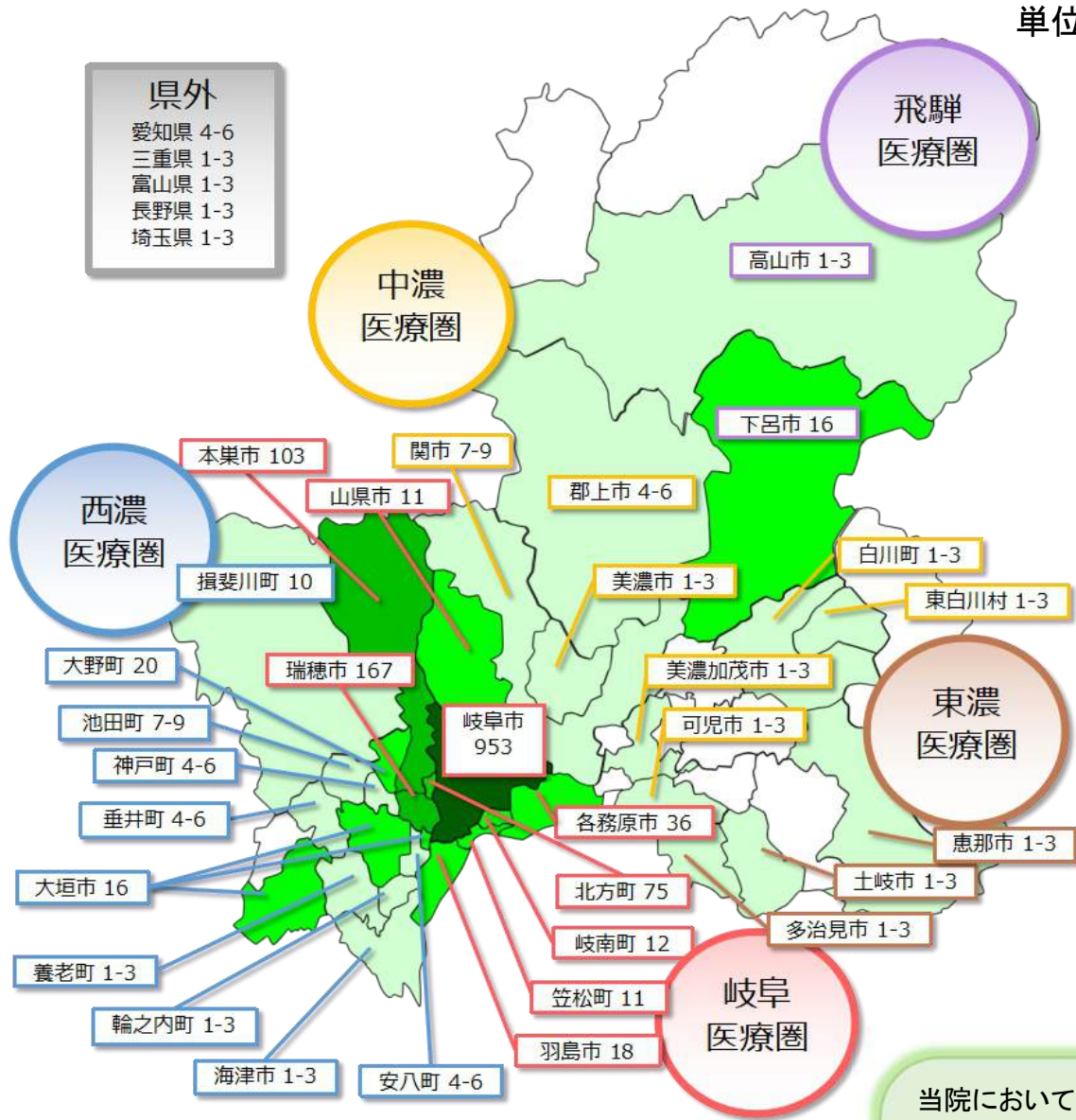
9. 来院経路の年次推移(診断や治療のため、患者さんがどの経路で当院を受診したか)



来院経路とは、がんの診断や治療のため、患者さんがどのような経路で当院を受診したかを表しています。
 当院では65~70%の患者さんが、他院からの紹介で受診されています。

10.診断時住所別登録件数・二次医療圏別登録割合(2024年)

単位:件



当院においてがんの診断時に居住していた住所でカウントしています。

下の円グラフは二次医療圏別の割合を示したものです。二次医療圏とは、救急医療を含む入院治療が圏内で完結するように設定された「地域医療単位」のことです。岐阜県は4つの医療圏から構成されています。

当院でがんの診断や治療を受ける方の90%以上の方が岐阜医療圏に在住しています。